

「2021年神奈川県平和行進」に御参加の皆さん、大変お疲れさまです。

核兵器を廃絶し、戦争のない平和な社会を築くことは、人類普遍の願いです。

そして、その実現に向け、世界各地で様々な取組が行われています。

神奈川県では、1984年に「神奈川非核兵器県宣言」が県議会で議決されたことをはじめ、唯一の核被爆国である我が国の、国民共通の悲願である「核兵器の廃絶、恒久平和の実現」に向けて、地域からの取組を進めてまいりました。

しかし、残念ながら、現在なお、この地球上には大量の核兵器が存在します。今年の1月には、昨年11月の米国による臨界前核実験の実施が明らかとなったことから、核兵器廃絶と平和を願う920万人の県民を代表し、強く抗議したところ です。

そうした中、昨年12月には、第75回国連総会において、我が国政府が提出した「核兵器のない世界に向けた共同行動の指針と未来志向の対話」の決議案が、核兵器国を含む150か国の支持を得て採択されました。決議では、核兵器の究極的な廃絶へのコミットメントを再確認し、核兵器不拡散条約体制の維持・強化に向け、国際社会が一致して取り組むべき行動の指針と未来志向の対話の重要性を強調しています。

こうした動きによって、世界が被爆の悲劇を見つめなおし、核兵器廃絶の機運が盛り上がっていくことを期待しています。

今後とも、平和を願う県民の皆様や各自治体と連携し、一日も早く、核兵器のない、戦争のない、平和な世界が実現するよう、努力を続けてまいります。

2021年5月12日

神奈川県知事 黒岩 祐治